

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840020	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	自転車駐車場管理					
担当部名	基盤整備部			担当課名	土木管理課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類			実施主体	指定管理者、岐阜市
開始・終了年度	平成	4	年度～		年度	根拠法令・関連計画 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、岐阜市自転車等駐車場条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		安心して利用できる自転車駐車場の管理運営を通じて、放置自転車等を防止し駐車秩序の維持を図る。				
内容 (手段・手法など)		JR岐阜駅周辺及びJR西岐阜駅周辺の市営有料自転車等駐車場(計10か所)の管理運営委託等				
事業の 対象	何を	自転車、原動機付自転車、自動二輪車の駐車場				
	誰に	自転車等利用者				
	どのくらい	JR岐阜駅周辺5か所(指定管理者、総収容台数 4,716台) JR岐阜駅周辺1か所(岐阜市直営、収容台数 361台) JR西岐阜駅周辺4か所(指定管理者、総収容台数 1,771台)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)		—				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,450	260	8,398	260	8,268	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,450	260	8,398	260	8,268	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		153,430	160,420	166,579
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	指定管理料、業務委託料	109,248	123,818	129,668
	土地借上料	35,526	35,480	35,377
	修繕料ほか	8,656	1,122	1,534
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		10,522	10,522	10,522
計(D)=B+C		163,952	170,942	177,101

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		172,402	179,340	185,369

【4.収入】

収入内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		95,047	104,765	107,703
その他		0	0	0
計(F)		95,047	104,765	107,703

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		77,355	74,575	77,666

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	駐車場利用者	駐車場利用者	駐車場利用者
受益者数	5,940	5,979	5,977
受益者負担額(千円)	95,047	104,765	107,703
受益者負担率(%)	55.1%	58.4%	58.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,023	12,473	12,994

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	利用台数(1日あたり)		単位	台
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	6,848	6,848	6,848	
実績値	5,940	5,979	5,977	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市民の利便性確保		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	
実績値	—	—	—	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	主要駅周辺に自転車等放置禁止・規制区域を設け、その受け皿となる自転車等駐車場を運営しているため、交通結節機能としての社会ニーズに込えている。 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律第5条第1項において、地方公共団体又は道路管理者は、自転車等駐車場の設置に努めるものとしている。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	指定管理者制度導入により、費用を抑えながら、効率的な運営を目指している。 主要駅周辺に自転車等放置禁止・規制区域を設け、その受け皿となる自転車等駐車場を運営しているため、民間活用だけでは、その行政目的を達成できない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	主要駅周辺に設けた自転車放置禁止・規制区域の受け皿となる自転車等駐車場として運営しており、当該区域の自転車放置を防ぎ、道路通行機能を維持していることから、交通結節機能としての社会ニーズに込えられている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	自転車駐車場は交通結節機能のほか、放置自転車対策として、道路通行機能、歩行者の安全確保等、市道管理の一面があり、総事業費の6割を受益者負担で、その他は税により賄っている。受益者負担割合が、より増加することが望ましいが、公平性の観点からは適正であると考える。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くなっていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	主要駅周辺に自転車放置禁止・規制区域を設け、その受け皿となる自転車等駐車場として運営していることから、交通結節機能としての社会ニーズに込えるために今後も継続した維持管理が必要である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840020	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	放置自転車等防止対策					
担当部名	基盤整備部		担当課名	土木管理課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	4	年度～		年度	根拠法令・関連計画
						岐阜市自転車等の放置の防止に関する条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		放置自転車を適正に処理することにより、通行機能及び歩行者の安全の保持並びに災害時の防災活動の確保を図るとともに街の美観を維持する。
内容 (手段・手法など)		自転車等放置防止の指導整理・啓発、並びに市内の放置自転車等を撤去し保管する。また、保管期間(60日間)経過後は売却、廃棄等の処分をする。
事業 の 対 象	何を	放置自転車
	誰に	放置自転車の利用者
	どのくらい	撤去業務は月曜～金曜(祝日、年末年始を除く。)指導整理業務は月曜～土曜(祝日、年末年始を除く)。保管所業務は年末年始を除いた全日。
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)		—

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,450	260	8,398	260	8,268	260
パートタイム会計年度任用職員A	13,390	1,300	13,390	1,300	13,130	1,300
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	21,840	1,560	21,788	1,560	21,398	1,560

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		25,315	25,713	24,406
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	撤去廃棄運搬委託	8,045	8,122	7,406
	駅周辺指導啓発業務委託	5,667	5,770	5,230
	保管所管理委託ほか	11,603	11,821	11,770
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		25,315	25,713	24,406

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		47,155	47,501	45,804

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	169	147	143
計(F)	169	147	143

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		46,986	47,354	45,661

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	道路利用者	道路利用者	道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	放置自転車 撤去件数	単位	台
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	-	-	-
実績値	1,340	1,318	1,432

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜駅周辺放置自転車数	単位	台
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	40	35	35
実績値	35	41	35
達成状況	○（達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	放置自転車の処理により、道路通行機能、歩行者の安全確保に資するとともに、街の美観を維持し、快適な交通環境づくりの推進に役立っている。 岐阜市が所管する道路上の放置自転車であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	放置自転車の指導を行うためのパートタイム任用職員として、指導に手慣れた県警OBを採用したり、保管所管理業務を岐阜市シルバー人材センターに委託するなど、費用対効果に配慮した運用を行っている。 市道上の私有財産撤去であり、民間等での実施は不可能なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	放置自転車の処理により、道路通行機能、歩行者の安全確保に資するとともに、街の美観を維持し、快適な交通環境づくりの推進に役立っている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	放置自転車撤去は、市道管理の一面があり、受益者は市道利用者となるため、受益者負担は税により賄うものとする。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	道路通行機能及び歩行者の安全確保に資するとともに、街の美観を維持するために、放置自転車の撤去作業は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840020	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	放置自動車等防止対策					
担当部名	基盤整備部		担当課名	土木管理課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	16	年度～		年度	根拠法令・関連計画
						岐阜市放置自動車等防止条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)		放置自動車を適正に処理することにより、市民の安全で快適な生活環境及び自然環境の維持を図る。				
内容 (手段・手法など)		警察と連携し、市道等に放置された自動車等の除去を行う。				
事業 の 対 象	何を	放置自動車等				
	誰に	放置自動車等の所有者				
	どのくらい	令和4年度までに548台の放置自動車等を解消した。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)		—				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	390	12	388	12	382	12
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	390	12	388	12	382	12

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	運搬処分委託	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		390	388	382

【4.収入】

収入内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		390	388	382

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	道路利用者	道路利用者	道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	調査・指導台数	単位	台
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	－	－	－
実績値	2	2	4

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	自主撤去台数	単位	台
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	－	－	－
実績値	1	0	3
達成状況	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	放置自動車等を適正に処理することにより、市民の安全で快適な生活環境及び自然環境の維持を図り、快適な交通環境づくりの推進に役立っている。 岐阜市が所管する道路上の放置自動車等であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	警察と連携して、所有者等への指導を行い、自主撤去を促している。 市道上の私有財産撤去であり、民間等での実施は不可能なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	警察と連携して、所有者等への指導を行い、自主撤去を促している。 このような放置自動車等の処理により、市民の安全で快適な生活環境及び自然環境の維持を図り、快適な交通環境づくりの推進に役立っている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	放置自動車撤去は、市道管理の一面もあり、受益者は市道利用者となるため、受益者負担は税により賄うものとする。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民の安全で快適な生活環境及び自然環境を維持するために、放置自動車等の撤去作業は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。